

こまき市民討議会
まちづくりミーティング
2019

- 実施報告書 -

令和元年 11月

(主催)

一般社団法人小牧青年会議所
小 牧 市

(協力)

こまき市民討議会実行委員会

目次

1 はじめに	1
2 事業概要	2
(1)報告書	
(2)市民討議会とは	
(3)こまき市民討議会の開催経緯	
(4)開催までの流れ	
(5)開催の概要	
3 話し合いの進め方	5
(1)前回からの主な変更点	
(2)具体的な進め方	
(3)情報提供	
4 話し合いの結果(テーマ1)	8
(1)話し合いの概要	
5 話し合いの結果(テーマ2)	16
(1)話し合いの概要	
6 意見のまとめ・取扱いについて	24
7 今回の反省と今後への課題	25
(1)無作為抽出による参加者募集について	
(2)「楽しい市民討議会」について	
(3)謝礼について	
(4)運営体制について	
(5)今後の市民討議会のあり方について	
8 こまき市民討議会を終えて	29
9 会場の様子	31
> アンケート集計結果	36
> 資料編	52

1 はじめに

2012年から開催されている「こまき市民討議会 まちづくりミーティング」も今回で8回目を迎えることが出来ました。これも2012年から今までこの市民討議会に共催していただいております小牧市協働推進課並びにご協力いただきました実行委員の皆様のご理解とご協力のおかげで開催できたと感じております。

こまき市民討議会まちづくりミーティングは、まちづくりへの市民参画の機会を増やし、自分たちのまちは自分たちで良くしていこうという住民自治意識の醸成を図ることで、普段は行政やまちづくりに対して声を上げる機会の少ない皆様にまちづくりを身近に感じてもらい、まちづくりや市政について関心を高めるきっかけとなっていると感じております。

本年度は「多文化共生」にポイントを置き国籍や民族など異なる人々が、互いの文化・価値観を認め合い、対等な関係を築きながら、このまちのことを話し合っただけではありません。その結果、想像以上に多くの方々が参加され、幅広い世代の方々に気軽に楽しく中身濃く討議いただく事が出来ました。

また今年も昨年実行委員として参加していただいた市民の方を中心に実行委員会を立ち上げ、準備から企画、当日の運営までご協力いただきました。ぜひ今後も市民討議会の自立した運営に携わっていただけたらと思います。

今回、こまき市民討議会まちづくりミーティング 2019が無事に開催できましたのは、多くの実行委員の皆様、一緒に会の成功を願ってご協力いただきました小牧市協働推進課の皆様のおかげであります。そして、何よりこの市民討議会にご参加いただきました市民の皆様に厚く感謝申し上げます。

一般社団法人小牧青年会議所
副理事長兼室長 三輪 直慶

2 事業概要

(1)報告書

本報告書は、一般社団法人小牧青年会議所と小牧市が締結した「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2019 の実施に関する協定書」に基づき、こまき市民討議会の内容及びその手法について、一般社団法人小牧青年会議所がまとめたものです。

(2)市民討議会とは

市民討議会は、ドイツなどで取り入れられている市民参加の手法「プラーヌクスツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民がまちづくりの課題などについて話し合い、そこで出された意見や提言をまとめ、課題解決へ生かす新しい市民参加の手法です。

これまで市政やまちづくりに声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティー＝「物言わぬ大勢」と言われる市民の参加を促し、その「声なき声」をまちづくりに反映させる手法として活用されています。

こまき市民討議会ではこの手法をもとに、無作為抽出で選ばれた市民が、地域の課題・解決策について話し合ってもらい、まちづくりに参画するきっかけとなることを目的としています。

今回の市民討議会の特徴

- ・参加者は無作為抽出した 18 歳以上の小牧市在住の日本人市民、及び小牧市国際交流協会、一色コスモスサポート学習の会、（特非）にわたりの会などに協力いただいた外国人市民。
- ・参加者には謝礼を支払います。
⇒普段まちづくりに関心のない市民の参加を促します。
- ・小牧市役所 市民生活部 多文化共生推進室 多文化共生係 係長 金子 清一郎 様、一般社団法人小牧青年会議所より討議前に情報提供をします。
⇒課題に対する個々の知識の差を補完し、話し合いを円滑にします。
- ・グループで討議したまとめに対し、グループごとで発表をします。

(3)こまき市民討議会の開催経緯

こまき市民討議会は、市民がまちづくりに参加する新しい試みとして一般社団法人小牧青年会議所が市へ企画提案したもので、市民がまちづくりについてお互いに課題を共有し、自分たちに何ができるかを話し合うことでまちづくりに関心を持っていただくことを目的とし、平成 24 年度に市との協働によって第 1 回が開催されました。

(4)開催までの流れ

◆平成 31 年 4 月 9 日 協定締結

開催に向け、小牧青年会議所と小牧市において「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2019 の実施に関する協定」を締結しました。

この協定は、市民討議会の実施について両者の関係や役割分担、相互協力の内容を定めたものです。

◆令和元年 8 月 1 日 参加案内発送

小牧市において無作為に抽出した 18 歳以上の小牧市在住者 2,500 人に参加案内を発送し、ご参加いただけるよう呼びかけました。

その結果、定員約 42 人に対し 51 人の方から参加承諾をいただくことができました。

◆令和元年 9 月 28 日 参加決定通知書発送

抽選によって参加者 38 人を決定し、「参加決定通知書」を発送しました。

その後の辞退者もあり、当日は 29 人の参加となりました。

(5)開催の概要

ア 日時

令和元年 10 月 6 日(日) 10:00~16:30

イ 会場

小牧勤労センター 多目的ホール (小牧市上末 2233-2)

ウ タイムスケジュール

9:30~10:00 受付

10:00~10:20 開会宣言・理事長挨拶・市長挨拶・趣旨説明等

10:20~12:00 アイスブレイク・情報提供・自己紹介・討議・発表(テーマ1)

12:00~13:00 昼食

13:00~15:55 アイスブレイク・情報提供・討議・発表・参加者の感想(テーマ2)

15:55~16:05 お礼の言葉

16:05~16:30 閉会宣言・記念撮影・アンケート記入

エ 討議テーマ

～誰もが愛着を持って住むまち小牧～

討議テーマ1 「住んでよかった小牧のいいところ」

討議テーマ2 「小牧をよりよいまちにするには」

オ 謝礼

2,784 円（手取額 2,500 円 源泉徴収税額 284 円）

カ 運営体制

主催 一般社団法人小牧青年会議所・小牧市

協力 こまき市民討議会実行委員会

本年度も「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、昨年度の市民討議会の参加者と昨年度実行委員としてお手伝いいただいた方々から募集を行い、13 人の方に承諾をいただきました。5 月より毎月 1 回実行委員会を開催し、討議テーマの選定、アイスブレイク、進行の方法等様々なご意見をいただきました。

また、討議会当日の受付からメインファシリテーター、司会、テーブルファシリテーターまで全てにおいて実行委員に運営していただき、企画から当日まで自主性を持ってご協力いただきました。

メインファシリテーター

- テーマ1 「住んでよかった小牧のいいところ」

メイン1 深山 麻衣さん（実行委員）

メイン2 宮本 富久美さん（実行委員）

テーマ2 「小牧をよりよいまちにするには」

メイン1 宮本 富久美さん（実行委員）

メイン2 深山 麻衣さん（実行委員）

- 総合司会 清水 香織さん（実行委員）
- テーブルファシリテーター（実行委員、（一社）小牧青年会議所）

3 話し合いの進め方

(1) 前回からの主な変更点

本年度は「多文化共生」にポイントを置き国籍や民族など異なる人々が、互いの文化・価値観を認め合い、対等な関係を築きながら、このまちのことを考えていただきました。

昨年の参加者と昨年の実行委員の方々に今回も「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、準備段階の実行委員会から当日に至るまで全ての運営を行っていただき、当日は非常に良い雰囲気での討議会を行えたと感じております。



◆会場の飾り付けとスタッフの服装

開催日が10月という事もあり昨年同様会場はハロウィンの装飾をしました。他にも実行委員の方々に自作していただいた飾りつけなどを活用し会場の雰囲気づくりに努めました。

また、メイン、サブファシリテーターの方には仮装を、テーブルファシリテーターは全員お揃いのハロウィンTシャツを着ていただき、参加者が緊張しない雰囲気づくりをしました。



装飾、服装に関しても実行委員の方々に決めていただき、より市民がつくる市民討議会の一歩を踏み出せたと感じています。

◆お菓子と飲み物をつまみながら

リラックスして話しができるようにお菓子と飲み物を用意し、自由につまみながら話し合いをしていただきました。

◆スタッフの配置

会場全体の進行役として司会者を1名、討議会参加者の意見を引き出す支援者としてメイン、サブファシリテーターを各1名、また、テーブルファシリテーターとして各グループに1名ずつ配置し、和やかな雰囲気での話し合いができるよう工夫し、実行委員の方々に担当していただきました。



◆アイスブレイク

討議前に会場の雰囲気づくり、ファシリテーターの話に注目してもらうため、アイスブレイクを行いました。

午前にはペーパータワーを各グループ全員で協力し合いA4サイズの用紙を制限時間内にできるだけ高く積み上げることを競いました。

午後は昼食後の眠気を覚ます意味も含め、身体を動かす、こまき山体操を行いました。

(2)具体的な進め方

ア グループのメンバー

討議会参加市民6, 7人と小牧青年会議所メンバー2名を1グループとし、8グループでテーマについて討議していただきました。

イ 話し合いの進め方

テーマに沿って、自分の意見をできるだけ多くふせんに書き出し、それを大きな模造紙に貼っていきました。

書き出された意見をもとに、話し合いを通して意見をグルーピングしていき、合意形成を図りました。

ウ 発表

グループの話し合いの結果を、決められた時間で発表していただきました。

(3)情報提供

各テーマについて

テーマ1：住んでよかった小牧のいいところ

情報提供者：一般社団法人小牧青年会議所 加藤 一樹

多文化共生に関して小牧市の現状と今後の課題についてお話をいただきました。

テーマ2：小牧をよりよいまちにするには

情報提供者：小牧市役所 市民生活部 多文化共生推進室 多文化共生係 係長 金子清一郎様

多文化共生推進プランの内容、改定の状況についてお話をいただきました。

4 話し合いの結果（テーマ1）

テーマ1：住んでよかった小牧のいいところ

テーマ1では、住んでよかった小牧の良いところを前半、小牧に住んで悪かったところや困っているところを後半に討議していただきました。

(1) 話し合いの概要

Aしのおかの桃グループ	ドッグ、ミチヨ、あべ、あみ、ヘンリー、きみ、コジ、きく
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適度に都会田舎町 ・ 中学校まで子供医療費がいらぬ ・ 子育て支援ががんばっている ・ 小学校で日本語だけでなく英語も教えている ・ 中学校まで給食がある ・ プレミアム商品券 ・ 駐ち場がある店が多い ・ 外国向けの食品を取扱う店が多い ・ 通訳の方がいて助かる ・ お祭りが多い ・ 歴史がある ・ 賃貸がやすい ・ 自然が多い ・ まちればこまきが役に立つ ・ 昔ながらのまちと産業がある
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車がないと不便 ・ 運転のマナーが悪い ・ ゴミの分別が複雑 ・ プレミアム商品券が全部の店で使えない ・ いろんなボランティアが集うが中途半端 ・ 空港まで行きづらぬ ・ 外国語の表記が少ない ・ 公共施設は多いが利用者が少ない ・ 名鉄小牧線の電車が少ない ・ 防災管理がしっかりしていない ・ 選挙の投票率が少ない ・ 自治活動が弱い ・ 車の渋滞 ・ 観光地がない ・ 最低賃金が低い ・ 電車が混んでいる ・ 保育園に入りづらぬ

Bスペースジェットグループ	よっしー、マイラ、ありま、にわ、レイラ、かず、ちよちゃん、うたちゃん、にわとり
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所が多い ・工場が多い ・車の便が良い ・程よく都市化している ・安いスーパーが多い ・高速道路がある ・子育てにやさしい ・子供の教室が多い ・自然が多い ・税金が安い ・外国人が多い ・地域のつながりがある
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・車の渋滞が多い ・コンビニが少ない ・トラックが多い ・交通の便が悪い ・市バスが使いにくい ・駅前の商店街が閑散としている ・コンサート会場が充実していない ・市役所が駅から遠い ・大きい公園が少ない ・ゴミの分別が細かい ・学校のボランティアが少ない ・大型商業施設がない ・狭い道が多い ・市民センターの設備が古い

Cパークアリー ナグループ	いけさん、ゆーみん、とも、かずさん、こうじ、たくや、もっち、 ゆりさん、りお、ドラ
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・小牧山がある ・小牧山が登りやすい ・大きな公園がある ・みまもりたいがいる ・国際交流が盛ん ・学校が多い ・児童館が多い ・税制がゆたか ・水道料金が安い ・名古屋が近い ・車移動が便利 ・ほたるがいる ・スポーツ施設がある ・子供が遊べる施設が多くある
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い道が多い ・図書館が分かりにくい ・外国の方との交流が少ない ・バスのコースがわかりづらい ・窓口に通訳が少ない ・電車が不便 ・車の渋滞が多い ・夜の車のマナーが悪い ・名古屋に行くのが不便

D市民四季の森 グループ	のりちゃん、ルーカス、まるちゃん、てんこさん、イズちゃん、 たからさん、こせっちさん、さとちゃん、てる
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの医療費がかからない ・ 子供にやさしい政策 ・ スーパーが充実している ・ コンビニが多い ・ 高速道路が近い ・ 歴史のある場所が多い ・ 名古屋コーチン発祥 ・ 四季の森がある ・ お祭りが賑やか ・ 緑があるので過ごしやすい ・ 災害が少ない
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピーチライナーがなくなった ・ Wi-fi スポットが少ない ・ パチンコ屋が多い ・ 歩道に草が多い ・ コミュニティバスが使いにくい ・ 車がないと不便 ・ 飛行機がうるさい ・ ルールやマナーが悪い ・ 観光名所がない ・ スポーツする場所が分かれている ・ 学校が古すぎる ・ 道が狭い ・ 子供の数に対して建物が狭い ・ アミューズメント施設が少ない ・ 盗難が多い ・ 小牧の中心部が栄えていない ・ 農業の後継ぎがいらない ・ 外国人向けの標識・表示が少ない

E小牧山グループ	ワッキー、れい子、グラディス、よしえ、ゆう、うえたん、いわし、レニーナ よーへー
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語学相談委員が多い ・ こどもの医療費が無料 ・ 子育てがしやすいまち ・ 子供支援が良い ・ 小学校でいろんな言葉に対応 ・ 子供のクラスに外国人がいる ・ 高速道路が近い ・ 高速道路が便利 ・ 名鉄小牧線に乗りやすい ・ 車の移動がしやすい ・ 道路がきれい 車で走りやすい ・ スーパーやホームセンターが揃っている ・ 外国人の方が働きやすい
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校でもっと多くの他国を学んでほしい ・ 夜遅くまで遊んでいる子供がいる ・ ほかの国に対しての理解が不足している ・ 車がないと生活が不便 ・ JR がない ・ 歩道道路が少ない ・ 市バスのコースが分かりづらい ・ 外国人向けの案内が少ない ・ 施設への公共機関がわるい ・ 車の渋滞 ・ 街灯が少ない ・ 歩道に草や石が多く歩きにくい ・ 言葉が分からない ・ ゴミの分別ができない ・ 道路へごみをすてる ・ 期日前投票の期間が短い ・ 公共機関が集まっている

F 信長グループ	ゆーみ、えりちゃん、春ちゃん、かずおちゃん、クラオカ、マッチャン、りよちゃん、じゅん、はまちゃん、アネゴ、ナカノ
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は無料に本が読める ・こまきワイナリーがある ・パークアリーナがある ・緑自然が豊富 ・治安が良い ・子育てがしやすい ・道路が広い ・企業がたくさんある ・施設が多くある ・小牧城がある ・ほたるが見れる ・ワイナリーがある
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が弱い ・交通の便が悪い ・海が遠い ・名古屋行きのバスの時間が早い ・ピーチライナーなど無駄が多い ・外国人向けの専門店が少ない ・外国人が住むところが少ない ・若い人の流出 ・人材が不足 ・外国人向けの日本語講座がない ・夜人が少ない ・おしゃれスポットが少ない ・お店が少ない ・看板がわかりづらい

G 田県神社グループ	さとたく、みっこ、ミチ工、やまちゃん、あゆみ、ひだ、つつち、よっさん
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援が多い ・外国人に優しい ・工場が多いから仕事も多い ・野菜が安い ・まちがきれい ・スポーツが盛んなまち ・歴史がある ・施設が多い ・方言が難しくない ・買い物するところが多い ・公園が多い ・市役所に通訳がついてる
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・標識に漢字が多い ・桃花台にお店が少ない ・夜遊ぶ店が少ない ・切符に日本語しか書いてない ・細い道が多い ・名古屋までのアクセスが悪い ・車の渋滞が多い ・ゴミ当番がたいへん ・ゴミの分別がわかりづらい ・飛行機の音がうるさい ・歩道が少ない ・不登校の子がそのまま卒業する

H名古屋コーチ ングループ	たかせ、カオリ、エビ、やっさん、おさない、 たなか、あらかわ、ルカス、イザドラ
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・土地が多い ・災害に強い ・自然が多い ・ゴミの分別がしっかりしている ・買い物がしやすい ・ゴミの収集が決まっている ・学校が整備されている ・地域のこどもみまもり運動ありがたい ・無料施設が多い ・仕事がたくさんある ・高速道路が使いやすい ・まちがきれい ・通訳がたくさんいる ・公園が多い ・NPO 外国人サポートが充実している
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者が多い ・大きい公園がない ・買い物の情報が少ない ・就業施設が少ない ・電車とバスが使いにくい ・交通が不便 ・歩道の整備が足りない ・お店が散らばっている ・車の渋滞が多い ・歩道が少ない ・パーティーできる店が少ない

5 話し合いの結果（テーマ2）

テーマ2：小牧をよりよいまちにするには

テーマ2では、テーマ1の討議で出た意見の中から話し合いのための「タイトル」をひとつ決めてもらい、それに対してどうすれば改善するか、更に良くするためにはどうすればいいかななどを討議していただきました。

(1) 話し合いの概要

Aしのおかの桃グループ	ドッグ、ミチヨ、あべ、あみ、ヘンリー、きみ、コジ、きく
タイトル	子育てしやすいまち こまき
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に遊べる場所 ・遊び場を増やす ・まちの宣伝カー ・賑やかなまち（明るいまち） ・人口増加を目指す ・国境のないまちづくり ・国境のないまちづくり ・こどもから発生する世間の輪 ・コミュニティがひろがる ・こどもたちの国際化 ・保育園・幼稚園でも通訳できる環境を作る ・住みたい、子育てを支援するまちづくり ・知らないことを知ることができる場所 ・保護者が集うコミュニティ施設 ・地域コミュニティの参加を促す ・学校や施設を情報の中心基地にする ・こどもがいなくても誰もが入れるようにする ・外国人の方のコミュニティの参加を促す ・学校で親が先生になって教える ・外国人が気楽に行ける通訳の場をつくる ・それぞれの国の発表する場をつくる ・こどもと大人が共に学ぶ場をつくる ・通訳のボランティアを増やす
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の方の子供（2世）に積極的に地域コミュニティに参加していただく。それを市が支援する。 （日本語がわからない親と地域コミュニティの架け橋） ・企業から地域コミュニティ参加への働きかけ

Bスペースジェットグループ	よっしー、マイラ、ありま、にわ、レイラ、かず、ちよちゃん、うたちゃん、にわとり
タイトル	げんごフリーな小牧市へ
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが集まれる場を作る ・コミュニティの場を増やす ・語学相談の場を増やす ・市役所に通訳の方を置く ・市役所や市民病院の通訳の充実 ・自治会や地域団体の場も外国人が関わる場の提供 ・通訳を増やす ・出張できる通訳を増やす ・通訳できる電話を作る ・外国人向けの相談窓口を設ける ・学校の授業に他国を学ぶ場を設ける ・働く外国人に助成金をつける ・宗教の授業を増やす ・誰もが集える施設を設ける ・外国人向けの情報発信アプリ
まとめ	市役所や学校で相談窓口をつくる。 (テレビ電話、アプリ、など情報の共有の場を増やす)

Cパークアリー ナ小牧グループ	いけさん、ゆーみん、とも、かずさん、こうじ、たくや、もっち、 ゆりさん、りお、ドラ
タイトル	関心を持ってもらうために地域として外国人の方と一緒に行動する
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国籍を知る ・ 地域の人を知る ・ 挨拶を知る ・ 挨拶の言葉を覚える ・ 名前を知る ・ 自国の音楽を楽しむ ・ 共にスポーツをする ・ 海外の国技でスポーツ交流 ・ 各国の食事を楽しむ ・ 各国のお酒を飲むイベント ・ 浴衣を着て楽しむイベント ・ 外国人の方と共に楽しむお祭り ・ 自国のお祭りを催す ・ 公民館で一緒に勉強をする ・ 案内の各国版 ・ 学校の先生たちと一緒に案内版をつくる ・ 日本の文化を分かりやすく学ぶ ・ 大人が外国語の勉強をする ・ 学校で一緒に勉強をする
まとめ	日本人と外国人と一緒に行動する 市民の休日を作る

D 市民四季の森 グループ	のりちゃん、ルーカス、まるちゃん、てんこさん、イズちゃん、 たからさん、こせっちさん、さとちゃん、てる
タイトル	市民交流を深めるために
	<ul style="list-style-type: none"> ・小牧市民まつりで国別の屋台を出店する ・お祭りで国の文化をアピールする ・各国の言語で動画を作成し、行政で紹介する ・特別視をせず人と人として接する ・外国人の方が主催するイベントを打つ ・太鼓を教える ・ブラジルのお店に出向く ・日本語学校を設ける ・日本語教室を増やす ・各国のお店専用の情報誌を作る ・誰もが集える場所の提供をする ・各国のフードフェスを開催する ・スポーツで交流の場を作る ・補助金を多く出す ・国別対抗リレーをする
まとめ	受け入れる体制づくりと日本らしさの両立。 日本人・外国人が共に努力をする。

E 小牧山グループ	ワッキー、れい子、グラディス、よしえ、ゆう、うえたん、 いわし、レニーナ、よーへー
タイトル	大人の外国人に日本を知ってもらうために
	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの開催を呼びかける ・ ゴミの分別を教えるイベントを開催する ・ 防災訓練参加を呼びかける ・ いろんな国を知ることができるイベントをする ・ 交流ができるイベントを作る ・ 外国人の方で困っている方と話し合う場を設ける ・ ゴミの注意看板を多国語で表示する ・ 外国人向けの看板を増やす。 ・ ゴミの分別を不動産さんにパンフレットを配っていただく ・ 外国人の方に分かりやすい小牧市のルールを伝える ・ SNS を使い小牧市のルール案内をする ・ 小牧市のホームページを外国人の方が見てもわかりやすくする ・ 困ったときの相談窓口を設ける ・ 民間の相談窓口を増やす。 ・ 大人の日本語学校 ・ PTA の集まりに通訳を設ける ・ 何か困ったときは声をかける ・ 翻訳機（ポケトーク）を貸し出す ・ こどものころからいろんな国を知る ・ 日本の習慣を伝える ・ 日本の良いところをより知ってもらう ・ いろんな国のいいところをまとめた本を作る
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多文化共生支援センターをつくる (総合的な相談窓口、いろんな言語で対応)

F 信長グループ	ゆーみ、えりちゃん、春ちゃん、かずおちゃん、クラオカ、マツチャン、りよちゃん、じゅん、はまちゃん、アネゴ、ナカノ
タイトル	コモン・こまき・カモンこまき
	<ul style="list-style-type: none"> ・交流イベントを増やす ・外国人の方を含め、全ての市民の情報共有をできるようにする ・イベント内での通訳をつける ・テーマを決めて集客のできるイベントの開催 ・外国人の方にも情報を共有できる環境 ・各国の文化や食を取り入れる ・各国のあいさつ ・各国々のコミュニティの場 ・各国の言葉の授業 ・各国の歴史、童話を取り入れた授業 ・各国のイベントを取り入れる ・いろいろな国の料理が食べるイベント ・チャイナドレスショー ・中国文化フェス ・各国の食品ブース ・各国の料理の試食 ・歌と民族舞踊を通して、各国文化を伝える ・小牧オリンピック ・インターナショナルカーニバル ・各国の衣装の展示、ドレスショー
まとめ	日本で1番、外国人が住みやすいまちをめざして、多文化共生を取り入れたイベント。

G田縣神社グループ	さとたく、みっこ、ミチ工、やまちゃん、あゆみ、ひだ、つつち、よっさん
タイトル	多文化共生における地域コミュニティ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵でわかる標識 ・ 宗教の理解 ・ 夜に集まれる場を増やす ・ 自治会にも通訳の場 ・ 外国人との触れ合えるコミュニティの場をつくる ・ 誰もが分かる回覧板 ・ 日本語を勉強できる場の提供 ・ 日本人が外国人向けの優しい日本語を勉強する機会をつくる ・ 日本人と外国人が気軽に集える施設 ・ 誰もが楽しく遊べる施設 ・ 外国人と日本人のふれあいの場 ・ 外国人向けの子供会への参加
まとめ	ときどき地域のみんなでご飯を食べる会をする。

H名古屋コーチン グループ	たかせ、カオリ、エビ、やっさん、おさない、 たなか、あらかわ、ルカス、イザドラ
タイトル	安心して受けられる医療を目指して
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院に通訳をもうける ・ 市民病院の初診料を安くする ・ 病院内のシステムの簡易化 ・ 医療相談窓口対面 orTEL ・ 市民病院と個人病院の連動化 ・ AI を積極的に受け入れる ・ 自動翻訳機を小さなクリニックに設置 ・ ファミリーサポートのようなサポートシステム ・ 体のどこが悪いのか伝えるイラストの絵 ・ イラスト形式のパンフレット ・ 多国語を話せる非常勤の人材を確保する ・ テレビ電話やスカイプなどを使い相談にのる仕組み ・ いつでも相談できる通訳ダイヤル ・ いろんな言葉で病院案内してもらえるサービス ・ 医療の説明会を開催 プレミアム商品券付き
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療にかかわらず情報提供の説明会を開催 ・ 多くの方に参加してもらうためプレミアム商品券を活用 ・ 健康な仕組みを育む

6 意見のまとめ・取扱い等について

今回の市民討議会では参加していただいた市民の皆様にまちづくりへの関心を更に高めていただくと共に、市民同士がよりよいまちづくりのために何ができるかを主体的に考え意見交換し合う中で、自分達ができることを導き出し、小牧を想う気持ちを高めていただきました。そして、多文化共生に目を向け、～誰もが愛着を持って住むまち小牧～をキャッチフレーズとし、午前のテーマ「住んでよかった小牧のいいところ」、午後のテーマ「小牧をよりよいまちにするためには」について、それぞれ討議を行っていただきました。

午前のテーマの「住んでよかった小牧のいいところ」では「自動車の交通の便が良い」「子育て支援が良い」「働く先が多い」など良い意見が多く出て、後半では「歩道が少ない」「車が無いと不便」「学校でもっと多くの他国を学んでほしい」「就業施設が少ない」良い面と悪い面が共通する内容が多く出ました。

午後のテーマの「小牧をよりよいまちにするためには」では午前に出た意見から1つ話し合う「タイトル」を決めていただき、改善するためには、更に良くするためにはという視点で討議を行っていただきました。「市役所や学校で相談窓口をつくる」「日本で1番、外国人が住みやすいまちを目指して、多文化共生を取り入れたイベントをつくる」「受け入れる体制づくりと日本らしさの両立」「日本人・外国人が共に努力をする」「企業から地域コミュニティ参加へ働きかけ」「日本人と外国人が一緒に行動する」「市民の休日を作る」「ときどき地域のみんなでご飯を食べる会をする」「多文化共生支援センターをつくる」等、お互いのことを意識して共に関わり合うことの大切さや、言葉の壁や互いの文化を認め合う場の必要性を感じさせる意見が多く出されました。

今回出た意見は、市が改定を進めている小牧市多文化共生推進プランの参考にしていただけるよう実施報告書として市に報告すると共に、青年会議所としても次年度以降に行う多文化共生事業の参考とさせていただきます。

7 今回の反省と今後への課題

討議会終了後に実行委員から今回の反省点、改善点などを取りまとめました。以下意見の抜粋。

1. 実行委員会について

- ・平日の夜の実行委員会の開催は参加の都合がつきにくい。
- ・基本ボランティアなので、どうしても抜けてしまう人が出る。
- ・一部の人に負担がかかりすぎる傾向がある。
- ・意見集約が必要な場合はテーマについて記入のうえ持ち寄る。
- ・欠席が分かっている場合は文書で提出するなどして効率的に運営してはどうか？
- ・市の担当、青年会議所、実行委員と3つの立場関係のバランスがどうなのかと感ずることがあった。
- ・青年会議所担当者、市の担当者からしてみれば実行委員の進め方などにもどかしい部分もあったと思うが、一般の市民が入ることの意味も大切だと思う。
- ・会議の机の配置について距離が遠かったのもう少し近い距離で話し合えると良かった。
- ・次回討議会時には実行委員の増員が必要と感じた。特に若い人が増えると新しい発想や柔軟な展開が期待できる。過去の討議会参加者を含めて積極的な勧誘をお願いしたい。
- ・ファシリテーターの会からも加入の促進を期待する。
- ・運営にあたり、実行委員の人数を増やしたい。
⇒委員長、副委員長、書記、会計、連絡係、会場作りなど、それぞれが運営の担当を持つようにできれば良いと思う。
- ・仕事、子育てなどの関係で、平日の打合せに参加できない方もいるので、打合せ日程に土日も組み込んでどうか。
- ・「多文化共生」というテーマであったので、会議メンバーに単発の参加でもよいので、外国人市民が関わると良かった。（日本人市民から外国人市民の視点が分かりにくい。）
⇒テーマごとに特別役員（無作為でない、テーマに沿った、知識ある）を設置、配置したらよいのでは。
- ・装飾やアイスブレイクなど担当制にしたのはよかった。（役割を分散、負担の軽減ができた）

2. 討議会本番について

- ・当日の飲物・菓子について、もう少し少なくても良いと思う。（討議が始まると飲食の時間があまりない。）
- ・外国人の方と同席するという新たな試みは面白く、実際に様々な意見を聞くことができ、非常に勉強になったが、反面、一スタッフとしては普段と違い難しかった。
- ・当日名古屋コーチンテーブルは日本人市民参加者2名が不参加+青年会議所メンバーも午前中は1名不在だったので、次回は当日のテーブル人員の振り分けが柔軟にできるといいと思った。
- ・午前と午後でメンバーが変わらないシステムはより深い討論ができて良かったが、新鮮な意見は出づらかった。
- ・会場が広がったせいか後ろのテーブルが聞き取りにくいことがあったようなので、前日リハーサルの時にマイクの聞こえ方をチェックしておいたほうが良いと思った。
- ・午前のアイスブレイクの説明が後ろの席のテーブルから見づらかったので舞台の上で行ってもら

えばよかった。

- ・ゆるキャラは雰囲気や和むので参加してもらった方が良いと思う。
- ・最後の午後発表の感想（メインファシの）が全グループの後だとまとめるのが大変だった。
⇒発表ごとにコメントでも良いと思う。（一言、手短かに）

3. テーマについて

- ・大テーマの多文化共生について、一般市民の立場から身近な生活感を越えた行政よりの問題だったので実行委員会の進行に不安があった。
- ・委員会の決定事項に都度、多文化共生のしぼりにとらわれすぎていたように感じる。
- ・小テーマ決めにおいても多文化共生から逸脱したテーマ案に展開したりして、なかなか決まらなくてとても苦労した。

4. 多文化共生・外国人参加者について

- ・本当に困っていることが末端に出てきてこなかったように思えた。（討議内容の意味が分かっていない）
- ・地域のコミュニティに参加していない外国人の方々が参加されていたようで、いかに地域コミュニティに参加してもらおう、参加するかが今後の課題だと思う。
- ・子どもから学ぶことが多いといわれていて、大人が学べる場所、方法が必要と思われる。
- ・日本語が通じて意思疎通ができるか不安だった。
- ・日本人とは違う、どのような価値観を持った人が参加するのか不安だった。
- ・外国人参加者が討議会に興味を持って参加するのか、KIA 等に依頼されて討議会はよく分からないけど参加するのかが分からなかった。
- ・外国人参加者からテーマに沿った意見が出てくるのだろうか不安だった。
- ・通訳してもらった内容を自分が付箋に書いて貼る作業が忙しくて、討議の進行がおろそかになったこともあり、外国人との討議の難しさを感じました。特に午後の討議のまとめまでがなかなか進行できず不十分で、テーブルメンバー、発表者に負担をかけた。

5. 討議会全体について

- ・グローバル化が進み外国人労働者が増加し、会社内にも外国人労働者はいるがプライベートの話はしないためどのような価値観かは分からなかった。今回はいい経験ができた。
- ・シナリオ変更点が前日まであり、メインファシリテーターとテーブルファシリテーターへシナリオの内容をしっかりと伝えられず、テーブル内の進行に戸惑いを持たせてしまった。
⇒一か月前くらいには大幅な変更が無いように進められると良いと思う。
- ・市役所の方、青年会議所の方が今回の多文化共生に対して、それぞれの思いや考えがあったとは思いますが、最初に決めた方向性が幾度となくぶれてしまったように思う。
⇒もう少し連携を取れるといいと思った。
- ・青年会議所の方と実行委員会の三役とで打ち合わせた内容が急に変更になっていることがあり実行委員会の打合せの進行に戸惑った。要望が伝わっていないこともあった。
- ・参加出欠アンケート集約の際、子どもがいるので討議会へ参加できない意見も多かったため、子どもも一緒に参加できるような討議会にしては。

参加者へのアンケート結果を中心に、今回の市民討議会の考察と、今後への課題をまとめました。
(アンケート結果の詳細については後述)

(1)無作為抽出による参加者募集について

市民討議会の参加者募集については、共催である小牧市の協力のもと、18歳以上の小牧市在住日本人市民 2,500 人(令和元年 7 月 16 日時点)を無作為抽出し、参加案内を発送しました。
(※参加案内の発送に係る個人情報については市において適切に管理されています。)

募集の結果、約 2.2%にあたる 54 人から参加承諾をいただきました。抽選により 38 人の方に参加者決定通知を送付し、その後 9 人が参加辞退され、当日は 29 人の参加となりました。

無作為抽出という方法については、参加者の事後アンケートによると、参加者全員の方が「無作為抽出の方法は良い」または「無作為抽出と公募の混合が良い」との回答をしており、今後も基本的には無作為抽出を継続していくことが望ましいと考えられます。

(2)「楽しい市民討議会」について

参加者の事後アンケートによると、参加に対する率直な感想について、「楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計で 97%と大半の参加者の方に楽しいと感じていただくことができました。「今後も開催するべきだと思いますか」という質問について、「開催した方がよい」が 96%と、この事業の有用性・将来性を参加者自身を感じていることが見受けられます。

(3)謝礼について

まちづくりへの参加機会の少ない層に訴求する重要な要素として、1 人あたり 2,500 円の参加謝礼を一般社団法人小牧青年会議所からお支払いしました。

また、当日は昼食を用意し、各グループにて一緒に食事をしていただくことで交友を深めていただきました。討議の最中の緊張感とは違った雰囲気での話しをしていただく機会となり、参加された全員の方に「よかった」と感じていただけました。(※無作為抽出による一般参加者への謝礼、昼食に対し、市の負担金は充当しておりません。)

謝礼について、参加者の事後アンケートでは 80%の方がちょうど良い、20%の方がその他(必要ない)と回答をされています。無関心層への訴求という意味で謝礼は重要な意味を持ちますので金額等については今後も慎重に検討していく必要があると思われます。

(4)運営体制について

本年度も実行委員会の皆様に準備段階から当日の運営まで担っていただきました。

実行委員会の構成メンバーは当初は 13 名の方で組織しましたが、体調不良や仕事などの諸事情のため途中辞退者が 2 名出たため 11 名で進め討議会当日は 8 名の方に出席いただき運営を行っていただきました。

司会者、メインファシリテーター、テーブルファシリテーターなど、当日の運営を実行委員の皆さんに行っていただき、青年会議所、協働推進課はバックアップに回ることで、市民によるまちづくりのイメージを今まで以上により強調し、市民が作り上げているという意識を醸成させることでまちづくりへの市民参画の意識をより高めることができたと感じています。参加者の事後アンケートでも「司会・メインファシリテーターの説明や進行は分かりやすかったですか」という質問に対し

ても、94%の方が分かりやすかったと回答いただきました。実行委員の経験値が増し、ファシリテーター技術の向上が図られ、質の高い進行が行えたと感じています。

実行委員の皆さんには平日の仕事終わりのお疲れのところ7回にもわたる会議に参加いただきました。実行委員の方には当日の昼食を用意させていただく以外はボランティアでやっていただいておりますが、年々負担増となっており、それに伴うことなどで実行委員の人数が減少していることを考えると、委員謝礼など、委員への対応について考えていくことも必要と思いました。

(5)今後の市民討議会のあり方について

公募ではなく市内全域から無作為抽出により参加者を募り、参加者の皆様に討議していただくということはとても意義のある機会の提供であると感じており今後も継続して行うべき事業だと思えます。

今回の討議会を通じて感じたことは多文化共生の大切さと必要性、そして難しさです。今回情報提供なども踏まえ、小牧市の外国人人口が増加していること、それによる多文化共生という考え方の必要性をあらためて感じました。しかし、言葉の壁や、民族、文化、宗教などの違いのため、それぞれの自国の「当たり前」が他国ではそうではないということがあり、互いのことを理解することは簡単ではないと思えます。まずはお互いのことを知るが大切だと感じました。

なお、6年前から取り入れた話しやすい会場の雰囲気づくりや、司会、ファシリテーターを市民の方に行っていただいた点については、今回も参加者に好評をいただくことができました。特に司会やファシリテーターを市民の方に行っていただいたことで、自分たちのまちを自分たちで良くしていこうという住民自治の意識向上へとつながり、一定の成果を得ることができたと実感しております。討議結果の反映、市民討議会に参加していただいた方がその後行動、活動に何か変化が出ているのかなどの調査についても今後議論をしていけるとよいかと思えます。

8 こまき市民討議会を終えて

こまき市民討議会実行委員会 委員長 脇田 英臣

今回の「誰もが愛着を持って住むまち 小牧」というテーマで日本人市民に加え市内在住の外国人市民の方にも参加してもらい話し合いをしてもらおうという新しい取り組みをしました。正直、とまどうことが多く今までにない配慮が必要になり進め方や内容の決定に時間を要しました。

実行委員のメンバーにそれぞれ役割を持ってもらい、各実行委員が複数の役割をこなしてもらったおかげで会自体は非常にスムーズに進んで時間も押すことなく無事終了しました。特に大きなトラブルもなくできたのは開催までの準備がしっかりできていたからだと思います。

私もテーブルファシリテーターとして参加者と一緒に討議に加わりましたが、外国人市民の方々は日本人市民との交流を求めている、きっかけを探しているけど見つけることができていない状態、言葉が通じないなどでなかなかそういう機会に巡り合わないなど、こういう場でなければ聞くことのできない意見を聞くことができ、小牧というまちに住んでこのまちをどう思っているか、何を求めているかを話してもらい多文化共生について考える良い話し合いができたのではないかと思います。

参加者の日本人市民の方々も外国人との交流に興味を持って参加して頂いた方が多く、話し合いの時も積極的に意見を出してもらい、グループをまとめ討議を円滑に進めて頂いたのでファシリテーターとしてはやりやすかったです。

最後に、小牧青年会議所や小牧市役所協働推進課のみなさまには、夜の打合せや会場の準備など段取りしていただき大変お世話になりました。つたない委員長でしたが支えてくれたスタッフ一同に感謝します。ありがとうございました。



▲メインファシリテーターを務めた深山さん（左）、宮本さん（中央）、司会を務めた清水さん（右）



▲実行委員長の脇田さん

討議の様子



9 会場の様子

会場全体



一般社団法人小牧青年会議所 理事長 佐藤君治よりあいさつ



皆様、こんにちは。私は一般社団法人小牧青年会議所 2019 年度理事長の職を預からせて頂いております佐藤君治と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日はお忙しい中、多くの皆様にお集まりをいただき誠にありがとうございます。

我々小牧青年会議所は明るい豊かな社会を目指して日々活動させて頂いております。その中の活動の一つとして 2012 年度から、市民の皆様にもちづくり運動をもっと身近に感じて欲しいという思いのもとこまき市民討議会まちづくりミーティングを開催させて頂いております。

日本は現在、人口減少に伴い少子高齢化や地方衰退など様々な課題に直面しています。我々が住むここ小牧においても少なからず影響が出ると予想されます。だからこそ今まで以上に小牧の事を考え、今まで以上に小牧の事を想い、誰もが愛着を持って住むまち小牧にしたいと考えています。

今回は多文化共生にポイントをおき多くの外国人市民の方にも来て頂きました。共により良い暮らしを送れるよう本日は、気軽に、楽しく、中身濃く皆様がたにお話しただければと思います。最後までどうぞよろしくお願い致します。

山下史守朗小牧市長よりあいさつ



本日はこまき市民討議会まちづくりミーティング 2019 にご参加いただき誠にありがとうございます。開催にあたり、企画から運営にいたるまでご協力をいただいている一般社団法人小牧青年会議所の皆様、市民討議会実行委員会の皆様にお礼申し上げます。

この討議会は無作為抽出で参加者を募集していることが特色の一つですが、今回はそれに加えて外国人市民の方に参加いただき、多文化共

生について話し合っていたとくという新たな試みであり、参加いただいた皆様に感謝申し上げます。現在小牧市では約 9,700 人の外国人住民の方がみえます。市の人口が約 153,000 人なので、約 6%の方が外国人住民ということになります。50 か国以上の国の方がおみえになり、定住化、永住化が進んでいます。こういった状況である中、「互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」を意味する多文化共生という考え方はいっそう重要となります。そのような状況を踏まえ、市では現在多文化共生推進プランの改定を進めています。また、小牧市では市民活動の活性化や協働を進める取り組みとして、市民活動助成金や、まちの課題に行政と市民が協働して解決をするための協働提案事業化制度を行っています。平成 27 年 4 月には、市民、議会、行政のそれぞれの立場からまちづくりを進めるための共通のルールとなる小牧市自治基本条例を施行しました。さらに、小学校区ごとに地域課題の解決に取り組む地域協議会の設立、介護施設やサロンでのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などの活動を通じ、地域での支え合いの輪を広げることを目的としたこまき支え合いいきいきポイント制度などを展開しています。このような制度があることを知っていただき、関わっていただけることを願っています。

結びとなりますが、本日参加されたことが、皆様にとって実り多いものとなることを心から祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

発表（午前）の様子



発表（午後）の様子





参加者の皆様ありがとうございました！